

02 夏休みまでの1か月、学校生活を楽しく送る「ルール」を徹底するには？



A 「学校のきまり」や「年度当初につくった「学級のルール」について、子どもと共に再確認しましょう。

「ルール」はみんなで学校生活を楽しく送るために必要なことと分かっている、4月からの学校生活に慣れたこのころには、気持ちが緩んでしまうもの。機をとらえて自分や学級の様子をふり返らせ、ルールの確認をすることが大切です。

「学校のきまり」や「学級のルール」を見える化・日常化するポイント

💡 繰り返る活動を工夫する！

6月下旬には、夏休み前の自分たちの行動や学級の状況を繰り返る場を設定し、成長を確かめると共に、「緩んでいるところを引き締めて夏休みを迎えよう」という意識をもたせたい。特別の教科 道徳や学級会などの場面で、新学期当初に確かめた、みんなが気持ちよく楽しく生活するための約束ごとについて、掲示物を活用して話し合う活動を行う。

💡 「学校のきまり」や「学級のルール」を見える化し、繰り返りのアイテムとする。

「みんなで決めたことだから……。」と言葉で言うだけでは、子ども一人ひとりがイメージすることが異なる。「これを守っていく」という意識を日々醸成するのに、構造化された掲示物を工夫したい。学習や係・当番の約束はもちろん、学校生活のきまりはどうかなど、共通の視点で現状を話し合わせる。

子どもたちの様子

新しい学年・学級の雰囲気にも慣れ、ルールを大切にしようという意識が薄れ気味。



大きな行事での達成感や日々の係・当番活動などを通して、友達との関係性もできてきた。



「学校のきまり」や自分たちで考えた「学級のルール」を守る意識もある一方で、気持ちにも緩みが出てきている。



学校生活の様子をふり返り、よいところを引き締め、残りの1か月を楽しく過ごしていきたい。



担任としての願い

年度当初に子どもたちと確認したルールを再確認し、みんなが気持ちよく楽しく過ごして夏休みを迎えさせたい。



4月～5月に確認した「学校のきまり」や「学級のルール」をふり返らせたい。



よいところと緩んでいるところに気づかせ、子ども自身が規範意識を高めるように促したい。



「学校のきまり」や「学級のルール」を改めて見える化して、日常化していきたい。



みんなが気持ちよく、楽しく学校生活を送るために「決めたことを守る」ことの大切さを確認・実行する。

学習のルールや係・当番活動のルールの掲示



「学校のきまり」をひと目で確認できるように1つ1つの約束を構造化する。

約束ごとの意図的な掲示が学級集団の規範意識を醸成する。夏休み前にみんなで確認して学校生活を過ごす雰囲気をつくる。

